

## B-13

出展団体名	大阪府立大学	
発表者所属	大学院生命環境科学研究科生物情報工学講座 助教授	
発表者氏名	西浦 芳史	
発表タイトル	負帯電微細水滴による加湿	
ねらい	[○] ビジネスパートナー探し	
	[○] 共同研究パートナー探し	
	[○] 共同製品開発のパートナー探し	
	[○] 所有技術シーズの顧客（ライセンス）探し	
	[ ] その他（ ）具体的に	
キーワード	①負帯電微細水滴	②多目的貯蔵
	③発根促進	④噴霧栽培
要 旨（アピールポイント）		
<p>農産物の鮮度保持や生産調整は、貯蔵技術が重要な役割をもつ。生きたものを活かした状態に保つには水分生理が重要で、ここでは、高浸透性や弱殺菌力をもつ負帯電微細水滴の機能を利用しようとするものである。</p> <p>具体的には、接ぎ木苗の養生、断根苗の発根促進、キノコ栽培への利用、花卉・苗・青果物の保蔵・貯蔵を対象に、それぞれの目的にあった装置化・機械化を図り、実用化の検証をおこなう。ここで目指す目標は、従来の装置より高性能（貯蔵期間の延長・生育促進など）なものである。</p> <p>滝壺・雨水などに代表されるレナード効果をもつ微細水滴が、植物の不定根形成と蒸散能に影響を与えることは当方の研究で明確であり、これを人為的に発生させる装置を開発し、その特許も取得している。負帯電微細水滴が持つ高浸透性や弱殺菌性がもたらす機能として、栽培や貯蔵への利用性はすこぶる高く、噴霧栽培や貯蔵庫に利用された例は見られない。</p> <p>噴霧栽培では、培地が要らないので筒型の風洞を利用することにより、軽量化が可能で棚栽培にも有効である。貯蔵では、コンテナ輸送やコンテナ貯蔵の空調装置として利用範囲はすこぶる広い。</p>		
特記欄		